

みんなのために、みんなで支援！災害救援ボランティア

1. 災害救援ボランティア活動とは

大規模災害時には、被災地（者）支援を目的に全国各地から自発的にボランティアやNPO 団体等が集結し、様々な形で被災住民の生活復興に大きな役割を果たします。行政での対応が難しい、個人ニーズへの対応など様々なニーズに応じた支援が出来るのが、災害救援ボランティア活動の特徴です。

2. 災害救援ボランティアセンターの重要性

被災直後の時期、集まったボランティアが個人や団体の判断でバラバラに活動を行ってしまいますと、ボランティア供給の地域格差や情報の混乱などボランティアによる二次災害の恐れがあります。このような混乱を防ぎ、より早急かつ効果的にボランティアの需要と供給を整えるため、災害救援ボランティアセンターを立上げ、ボランティアをコーディネートすることが重要となります。

このボランティアセンターは、ボランティア支援のノウハウを持つ社会福祉協議会やNPO 団体を中心となり立上げを行いますが、地域を良く知る地域の民間団体や被害を逃れた地域住民のみなさんの協力が不可欠です。ボランティアセンターが立ち上がった際は、参加できる地域住民の皆さんは積極的に参加してください。また、不幸にも大変な被災をされた方で、ボランティアの力が必要な方は遠慮なく問い合わせてください。

3. 岡谷市災害救援ボランティアセンター

岡谷市で大地震等の大規模災害が発生した場合、市災害対策本部と社会福祉協議会が連携をとり、岡谷市文化会館（カノラホール）※1に災害救援ボランティアセンターを設置し、被災住民のニーズの把握、ボランティアの募集・受付、現地へのボランティア派遣などを行っていきます。また、ボランティアセンターが開設された場合※2は、市や社会福祉協議会のホームページ等でみなさんにお知らせしていきます。

※1 岡谷市文化会館(カノラホール)が使用不能となった場合は、災害状況に応じて柔軟に設置場所を決定していきます。

※2 災害救援ボランティアセンターは、大規模災害時に設置されますので通常時は開設されていません。

災害発生から災害救援ボランティア活動終了までの大まかな流れ

災害発生直後～3日程度	ボランティアセンター開設 (災害から3日程度)	ボランティアセンター解散 (復興状況に応じて解散)
<ul style="list-style-type: none"> ・要援護者、ライフライン等の被害状況の確認 ・ボランティアセンター立上げの協議及び開設準備 ・広報活動（ニーズ・ボランティアの募集等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの受入れ及び派遣業務 ・被災地及び周辺地域の状況確認 ・行政等関係機関との連絡調整 ・ミーティングの実施（ニーズの変化に対応） 	<ul style="list-style-type: none"> ・解散の時期、方法についての協議 ・解散に伴う残務整理 ・センター解散後の地域福祉の展開等の協議

岡谷市災害救援ボランティアセンター（イメージ図）

